

【表紙】

【提出書類】	内部統制報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の4第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年4月8日
【会社名】	株式会社アークス
【英訳名】	ARCS COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 横山 清
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	北海道札幌市中央区南十三条西十一丁目2番32号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 証券会員制法人札幌証券取引所 (北海道札幌市中央区南一条西五丁目14番地の1)

1【内部統制報告書の訂正報告書の提出理由】

平成27年5月27日に提出いたしました第54期（自平成26年3月1日 至平成27年2月28日）に係る内部統制報告書に訂正すべき事項が生じたので、金融商品取引法第24条の4の5第1項の規定に基づき、内部統制報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

3 評価結果に関する事項

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____線を付して表示しております。

3【評価結果に関する事項】

（訂正前）

上記の評価の結果、当事業年度末日時点において、当社の財務報告に係る内部統制は有効であると判断いたしました。

（訂正後）

下記に記載した財務報告に係る内部統制に関する事項は、財務報告に重要な影響を及ぼすこととなり、開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって、当連結会計年度末日時点において、当社グループの財務報告に係る内部統制は有効でないと判断いたしました。

記

当社は、平成26年9月1日付で株式会社ベルプラス（現株式会社ベルジョイス）との間で株式交換による経営統合を行いました。その企業結合に伴う資本連結手続きにおいて少数株主持分の計算に誤謬があることが判明したため、平成27年2月期第3四半期の四半期報告書及び平成27年2月期の有価証券報告書並びに平成28年2月期第1四半期から第3四半期における四半期報告書について訂正報告書を提出いたしました。

上記の誤謬については、当社において該当する複雑な企業結合会計及び連結会計に関する認識の誤りにより、少数株主持分の残高検証手続きが不足していたことが原因であり、当社の経理体制が正確な財務諸表を作成することに関して必ずしも十分とは言えないことから、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスに関連する内部統制上、開示すべき重要な不備があると判断いたしました。

なお、上記の財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備が、連結会計年度末までに是正されなかった理由は、当該誤謬が翌連結会計年度の第4四半期において判明したためであります。

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を強く認識しており、複雑な企業結合会計及び連結会計に対応するための専門知識の強化および人員体制の確立を急ぐとともに、連結決算に関するチェックリストを再度整備し、また、重要な非経常取引の検討過程においては社外専門家の複数に見解を求める等、全社的な内部統制及び決算・財務報告プロセスの整備・運用の更なる強化を図り、財務報告の信頼性を確保してまいります。